




2025年3月期 第2四半期(中間期) 決算説明資料


2024年11月8日

上場市場：東証スタンダード市場
証券コード：9083



 2025年3月期 第2四半期(中間期)決算

 2025年3月期 業績予想

 株主還元



2025年3月期 第2四半期(中間期)決算

2025年3月期中間期は、コロナ禍明けの更なる需要回復や、主要事業である一般路線バスの運賃改定などの効果があり、前年同期比で売上高・営業利益・経常利益ともに増加、当期純利益は黒字回復となった。

自動車運送 (乗合バス事業)

- ・路線バスは、2023年12月からの運賃改定が寄与。また、中距離路線の増便で通勤・通学需要を取り込み輸送人員が増加（ICカード利用者数前年同期比+2.9%）
- ・高速バスは、移動需要の緩やかな回復や、長距離バスや空港リムジンバスの運行再開などにより、輸送人員が増加（前年同期比+1.5%）

不動産

- ・賃貸は、新たに収益物件の賃貸を開始したことなどにより賃料が増加
- ・建設・住宅販売は、工事受注や住宅販売数などが増加
- ・管理・清掃は、清掃業務の新規受注などにより売上が増加

旅行貸切

- ・旅行は、チャータークルーズの開催、インバウンド利用が増加
- ・貸切バスは、*公示運賃の改正やイベント輸送が寄与する一方、運転士不足により稼働が減少

(*公示運賃…貸切バスの時間・キロ当たりの運賃や各種料金を定めたもの)

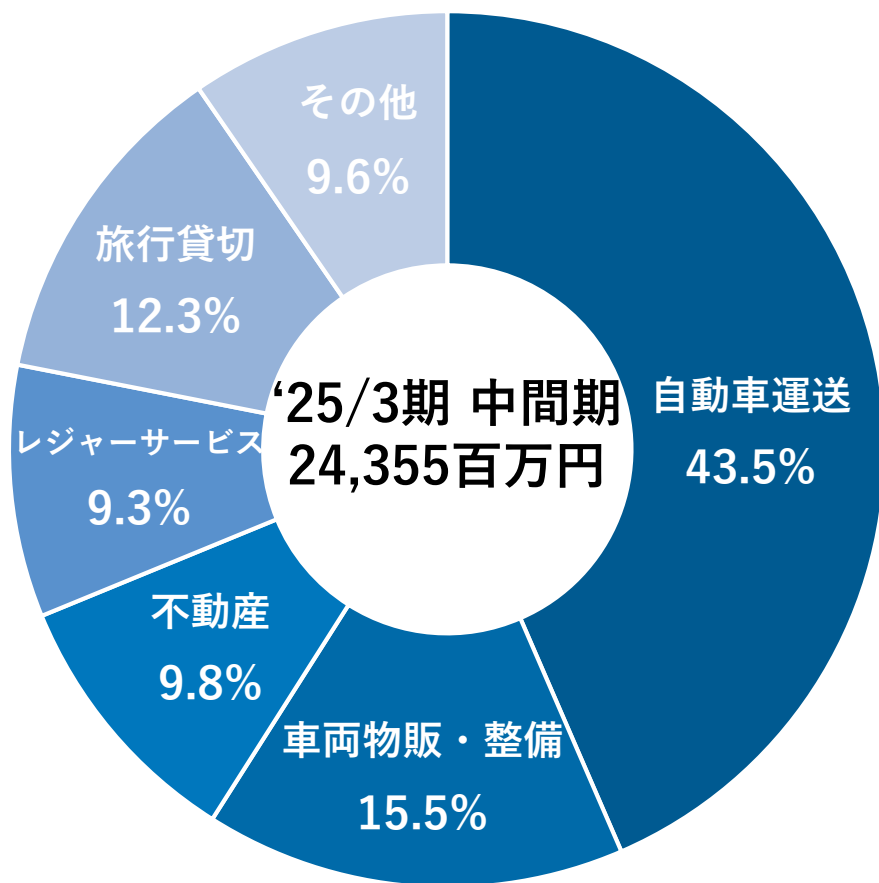
2025年3月期 中間期業績 (連結)

(百万円)	2025年3月期 中間期	2024年3月期 中間期	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	24,355	22,258	+2,096	+9.4%
営業利益	603	160	+443	+276.8%
経常利益	681	173	+508	+293.5%
経常利益率	2.8%	0.8%	+2.0pt	+250.0%
親会社株主に帰属する中間期純利益	420	△20	+440	—
1株当たり中間期純利益	69.81	△3.32円	+73.13円	—

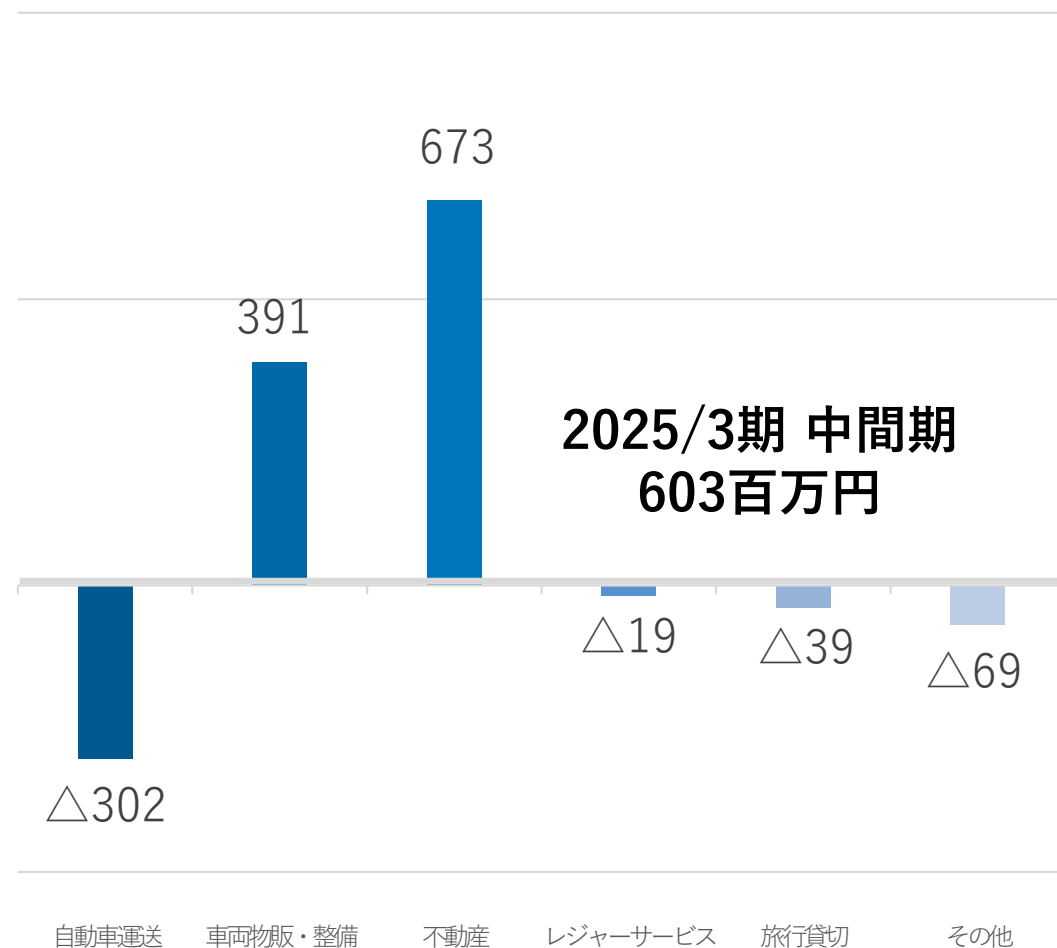
2025年3月期 中間期業績（セグメント別）

(百万円)	2025年3月期 中間期	2024年3月期 中間期	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	24,355	22,258	+2,096	+9.4%
自動車運送	10,587	9,845	+741	+7.5%
車両物販・整備	3,775	3,476	+299	+8.6%
不動産	2,376	2,096	+280	+13.4%
レジャーサービス	2,273	2,250	+22	+1.0%
旅行貸切	2,992	2,441	+551	+22.6%
その他	2,348	2,147	+201	+9.4%
営業利益	603	160	+443	+276.8%
自動車運送	△302	△662	+360	—
車両物販・整備	391	285	+106	+37.2%
不動産	673	640	+32	+5.1%
レジャーサービス	△19	27	△47	—
旅行貸切	△39	△28	△11	—
その他	△69	△106	+36	—
(セグメント間取引消去)	△29	4	△34	—

売上高構成比 (単位：%)



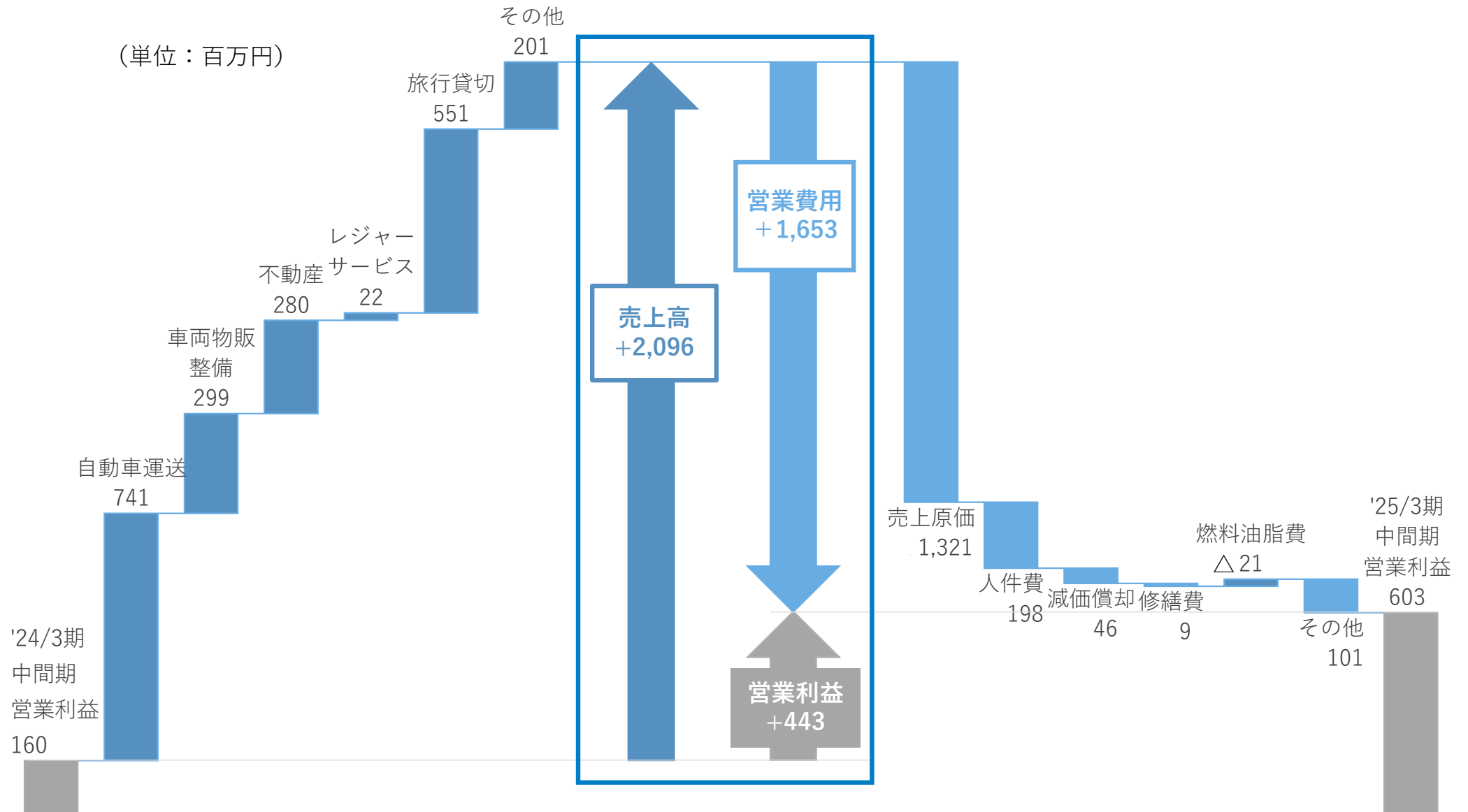
営業利益 (単位：百万円)



※セグメント間取引消去額 (△29百万円) はグラフに含まれていない。

営業利益 増減要因

(単位：百万円)

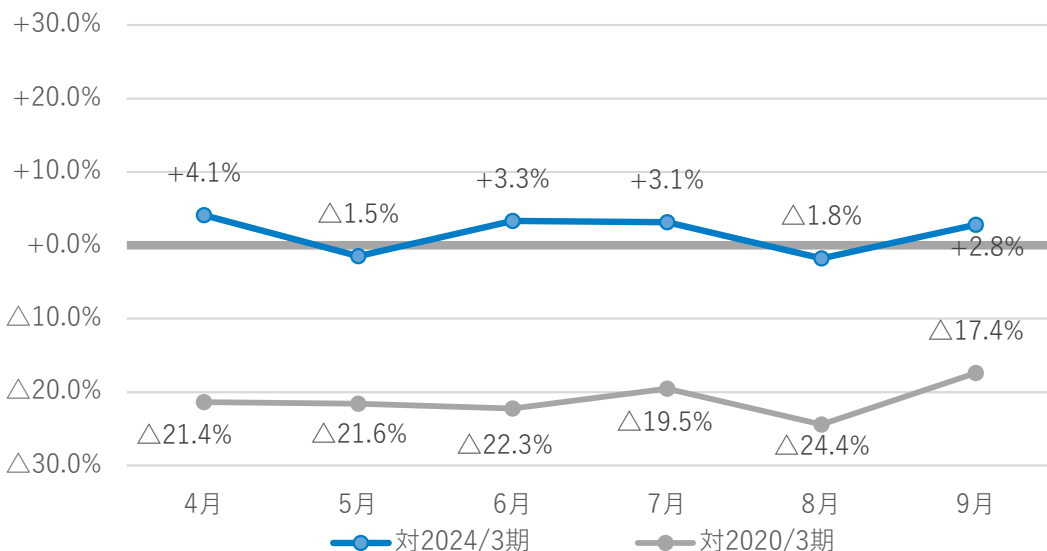


- 路線バスでは、2023年12月からの運賃改定、三田～大阪・新大阪線、三田～三宮線、三宮～有馬温泉線の増便などにより増収
- 高速バスでは、姫路～関空リムジンバスの運行再開や中国道ハイウェイ線などでの運賃改定などにより増収

(百万円)	2025/3期			2024/3期			前年同期比	
	1Q	2Q	計	1Q	2Q	計	増減額	増減率
売上高	5,347	5,240	10,587	4,933	4,912	9,845	+741	+7.5%
営業利益	△93	△208	△302	△231	△431	△662	+360	-

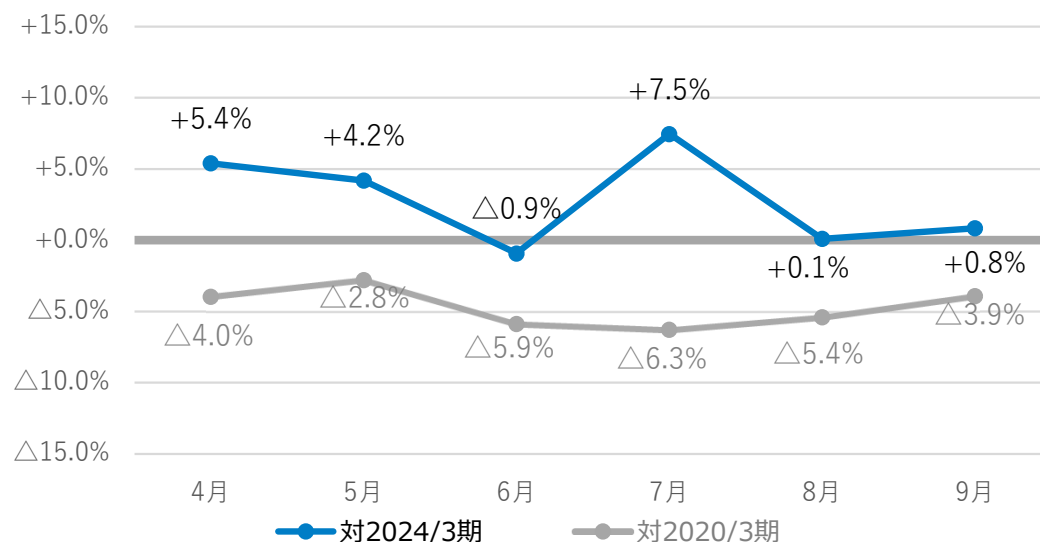
※路線バス運行に伴う運行補助金などは下期に計上

高速バス 利用人員対比^{※1}
【対前期('24/3期)・対コロナ前('20/3期)】



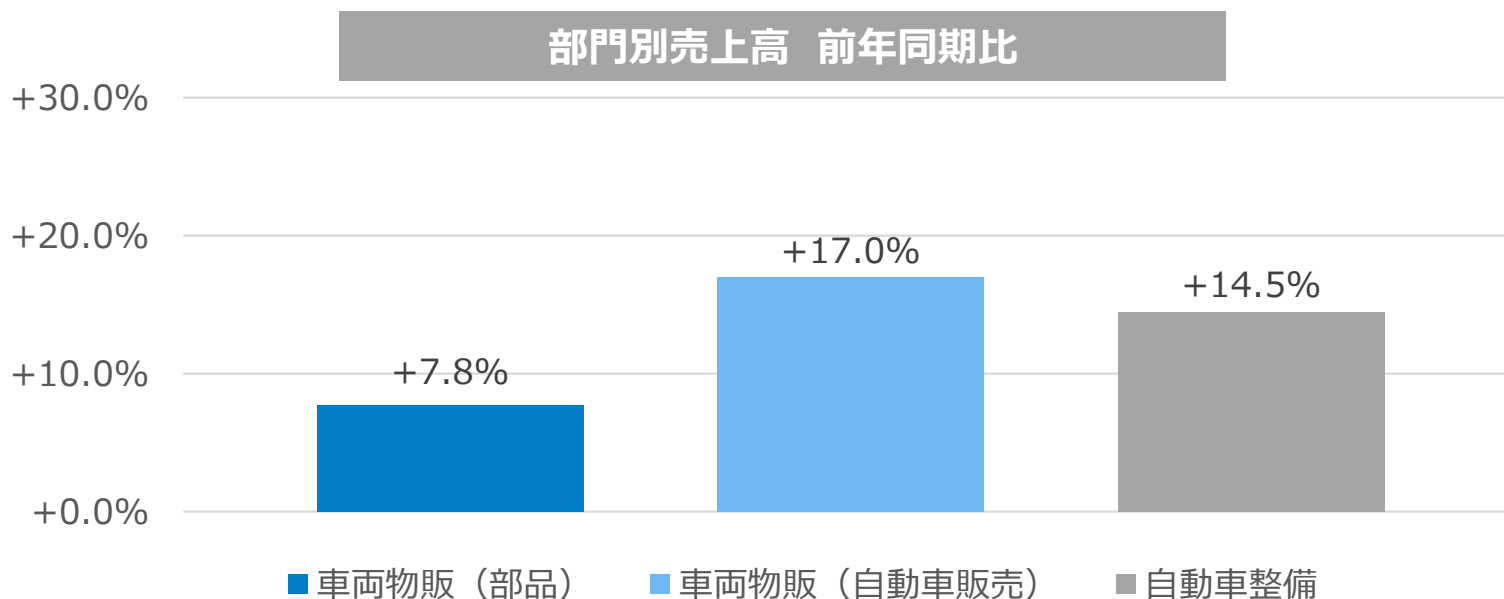
※12023年4月より淡路島線の4社共同運行を開始 (比較は4社共同運行前の人員数を適用)

路線バス ICカード利用人員対比
【対前期('24/3期)・対コロナ前('20/3期)】



- 車両物販（部品）では、車両使用年数の長期化に伴う整備部品の出荷増や、4月に播磨地域で発生した雹（ひょう）害による钣金部品の出荷増などにより増収
- 車両物販（自動車販売）では、大型バスなどの高額車両販売が寄与し増収
- 整備では、エンジン関係の修理や中古バス改造などの高額受注により増収

(百万円)	2025/3期			2024/3期			前年同期比	
	1Q	2Q	計	1Q	2Q	計	増減額	増減率
売上高	1,806	1,969	3,775	1,686	1,789	3,476	+299	+8.6%
営業利益	182	209	391	123	162	285	+106	+37.2%



■ 賃貸では、2024年1月竣工の※1学生向けマンション(三田市)、2023年6月に取得した赤穂市商業施設用地の全期間寄与による賃料増で増収

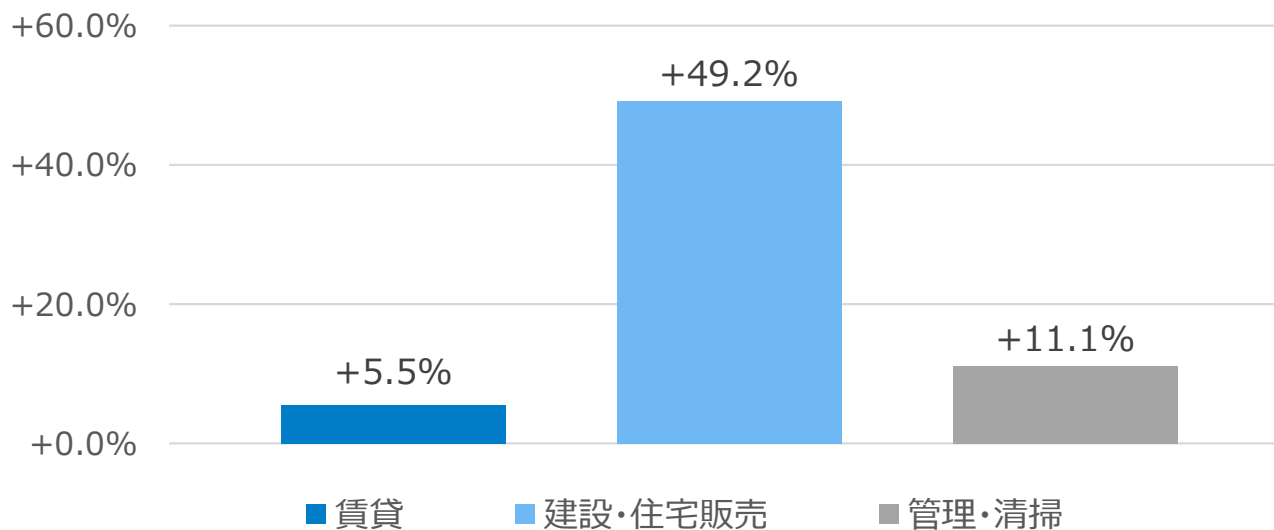
■ 建設・住宅販売では、工場の解体工事受注、戸建住宅・分譲地の販売増により増収

■ 管理・清掃では、ホテル清掃や工場清掃の新規受注などにより増収

(百万円)	2025/3期			2024/3期			前年同期比	
	1Q	2Q	計	1Q	2Q	計	増減額	増減率
売上高	1,090	1,286	2,376	847	1,249	2,096	+280	+13.4%
営業利益	308	364	673	261	378	640	+32	+5.1%

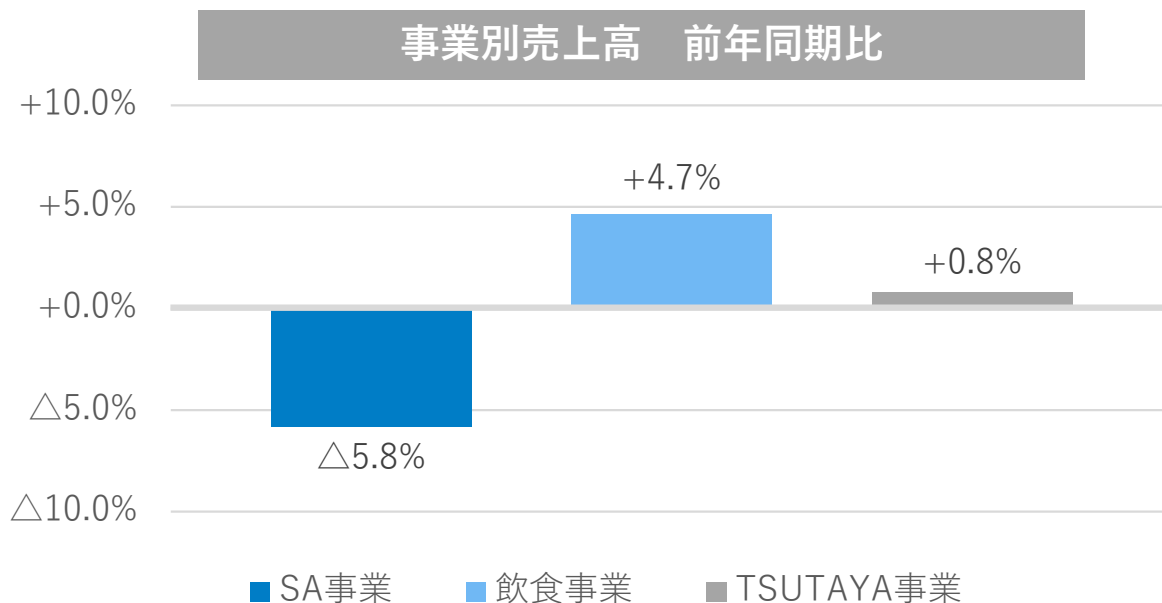


※1グランネクサス三田駅前（'24/1竣工）



- サービスエリア（SA）事業では、5月に播但道市川SAのレストラン運営から撤退し減収
- 飲食店は、外出需要の増加や2023年10月に開店した「豚小家」高槻店の寄与により増収
- TSUTAYAは、書籍・レンタル収入が減少するも、物販（文具雑貨・トレカなど）の拡大で増収。一方、店舗内に開設したネイルサロンの初期投資により減益

(百万円)	2025/3期			2024/3期			前年同期比	
	1Q	2Q	計	1Q	2Q	計	増減額	増減率
売上高	1,083	1,189	2,273	1,077	1,172	2,250	+22	+1.0%
営業利益	△20	1	△19	2	25	27	△47	-

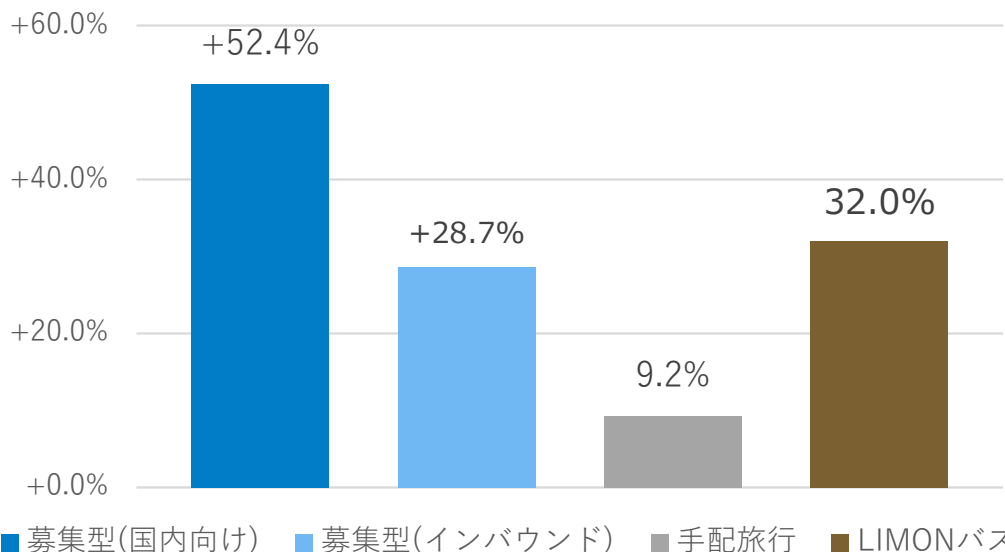


多店舗展開する炭火焼き豚丼専門店「豚小家」

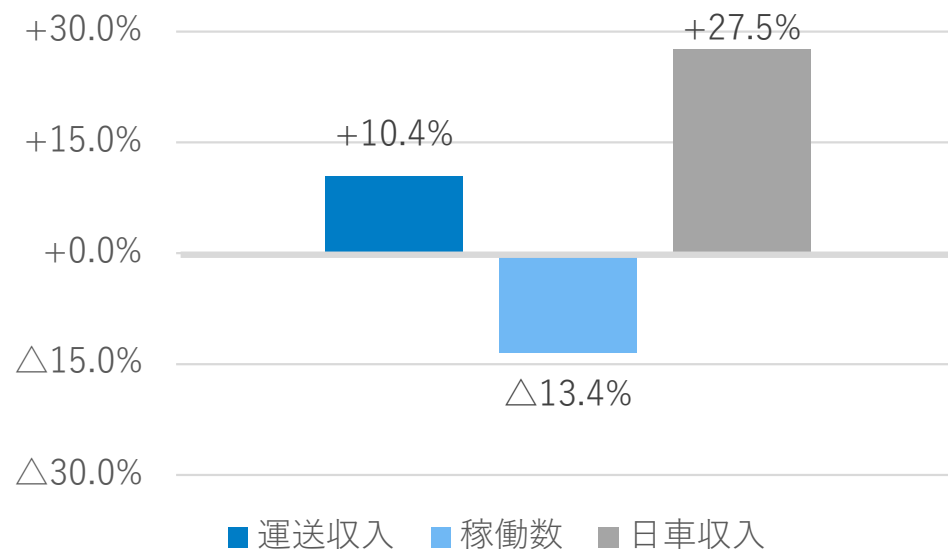
- 旅行は、にっぽん丸チャータークルーズ3日間の開催、順調なインバウンドツアーの集客、LIMONバス東京便の増便などにより増収
- 貸切バスは、公示運賃の改正や、5月に神戸で開催された「世界パラ陸上競技選手権大会」の選手輸送などにより増収（稼働数の減少は運転士不足によるもの）
- 4月から開始した瀬戸内周遊ツアーは、準備段階で経費先行

(百万円)	2025/3期			2024/3期			前年同期比	
	1Q	2Q	計	1Q	2Q	計	増減額	増減率
売上高	1,580	1,411	2,992	1,246	1,194	2,441	+551	22.6%
営業利益	27	△67	△39	5	△33	△28	△11	-

旅行取扱 前年同期比較

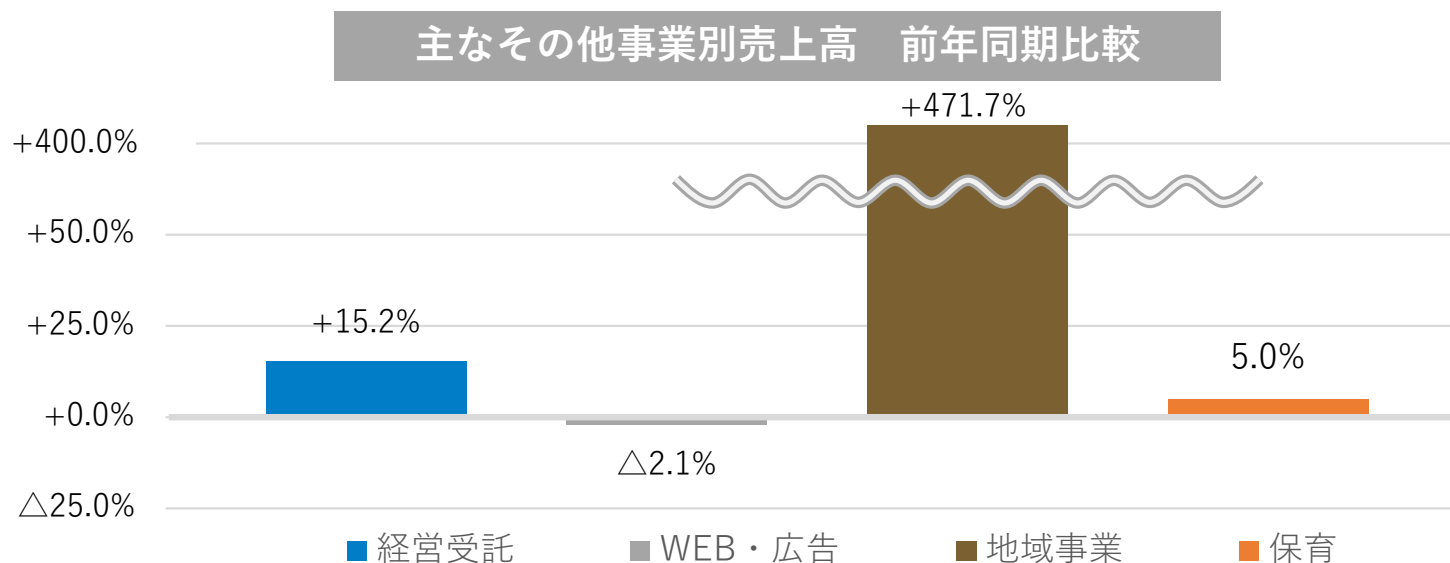


貸切バス稼働 前年同期比較



- 経営受託（公共施設管理）は、「兵庫県立西播磨文化会館」・「兵庫県立こどもの館」などの新規受託施設や、既存施設の指定管理料増額などにより増収
- WEB・広告は、自治体広報誌の受注減などにより減収
- 地域事業は、2023年8月にオープンしたTravel Lab（トラベルラボ）の寄与で増収

(百万円)	2025/3期			2024/3期			前年同期比	
	1Q	2Q	計	1Q	2Q	計	増減額	増減率
売上高	1,159	1,189	2,348	1,072	1,075	2,147	+201	+9.4%
営業利益	△27	△42	△69	△51	△54	△106	+36	-



連結貸借対照表

(単位：百万円)	2024年9月末	2024年3月末	増減額	主な要因
流動資産	13,820	13,446	+373	
現預金	7,673	5,966	+1,706	運行補助金の回収など
売掛金	3,936	5,659	△1,723	同上
その他	2,210	1,819	+390	前払費用の増
固定資産	49,138	49,624	△486	
有形固定資産	40,866	41,144	△277	
その他	8,271	8,480	△208	
資産合計	62,958	63,070	△112	
負債	15,433	15,678	△245	
有利子負債	2,218	2,333	△115	借入返済による減
未払金	2,793	3,199	△405	
その他	10,420	10,145	+275	前受金（定期券分）の増
純資産	47,525	47,392	+132	
負債純資産計	62,958	63,070	△112	
*Net Cash	5,454	3,632	+1,821	

*Net Cash=期末現預金－期末有利子負債残高

自己資本比率75.5%

前年同期と比較して、営業CFは収支改善により増加し、投資CFは固定資産購入が減少。結果として、FCFが改善。

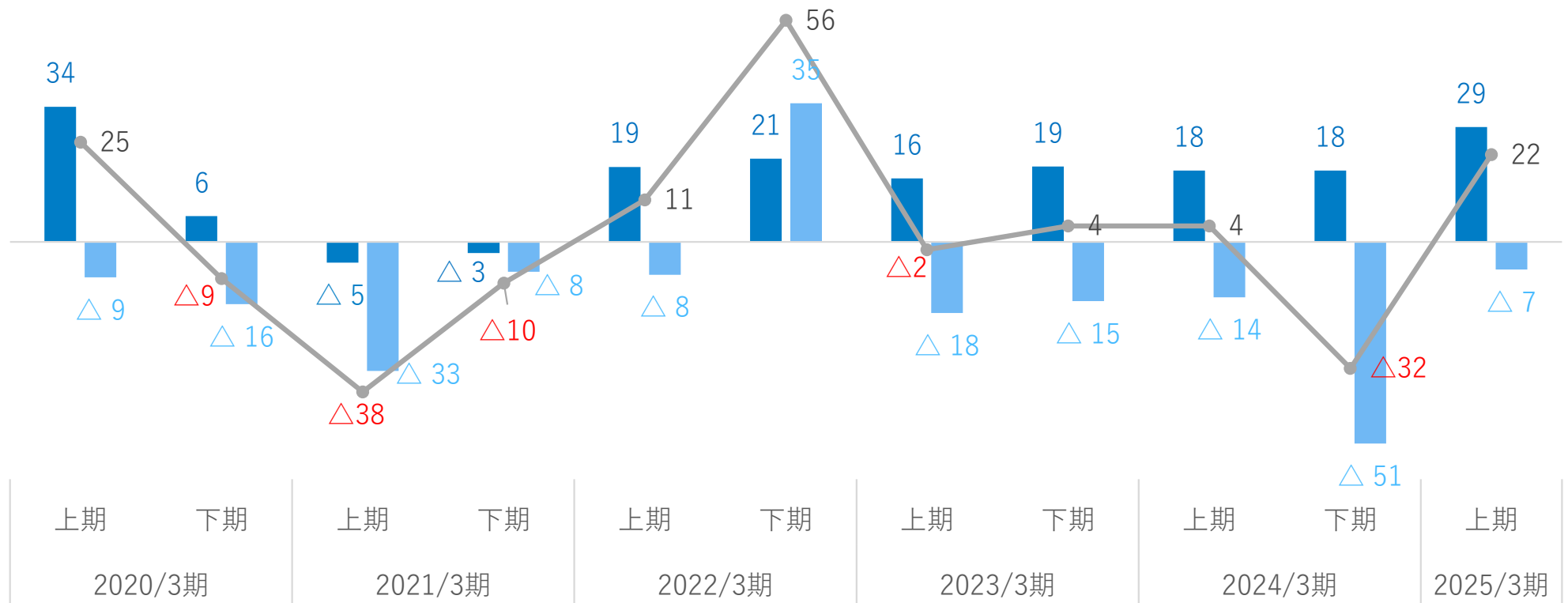
キャッシュフロー推移

(単位：億円)

■ 営業キャッシュフロー

■ 投資キャッシュフロー

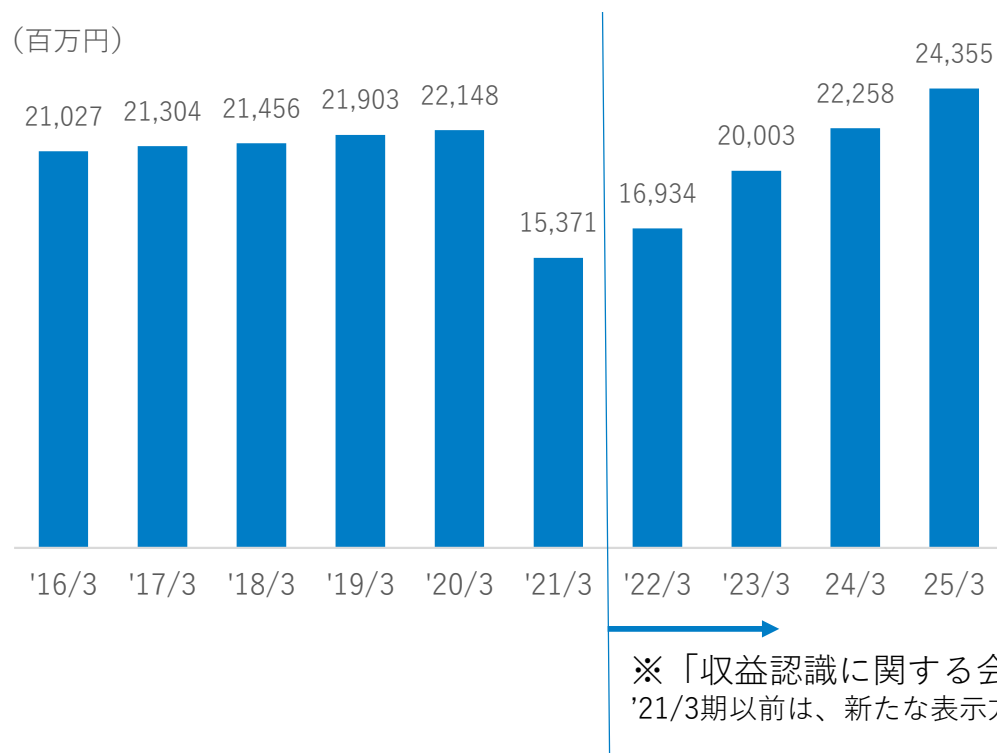
● FCF



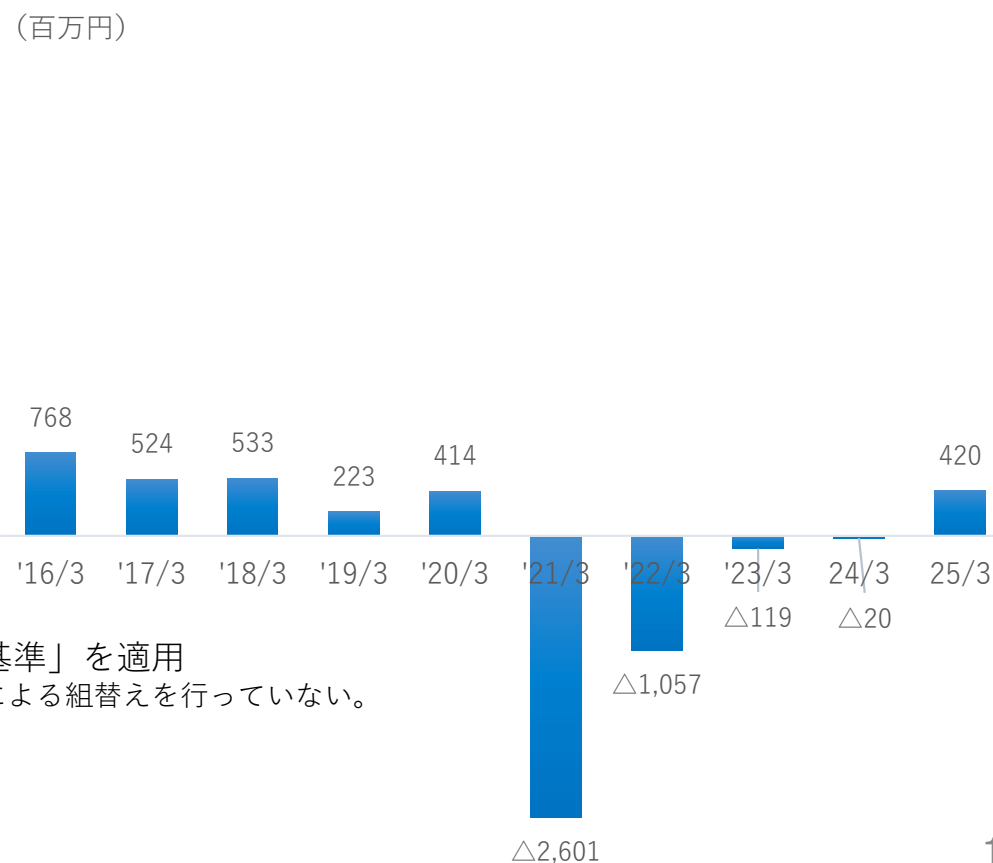
*FCF=営業キャッシュフロー+投資キャッシュフロー

- 売上高ではコロナ禍前(2020/3期)と同等の水準まで回復(「収益認識に関する会計基準」を考慮)
- 利益ではコロナ禍前を上回る水準となり、5期ぶりに黒字回復

売上高 (中間期)



親会社株主に帰属する四半期純利益 (中間期)





2025年3月期 業績予想

2025年3月期 業績予想

■ 上期において、自動車運送や車両物販・整備を中心に業績が予想を上回ったことや、下期においても10月から実施の路線バス運賃改定（2回目）効果などを見込み業績修正

(百万円)	2025年3月期 業績予想 (11月8日開示)	2025年3月期 業績予想 (5月14日開示)	業績予想 増減額	2024年3月期 実績	前年同期比	
					増減額	増減率
売上高	52,900	51,600	+1,300	49,480	+3,420	+6.9%
営業利益	3,200	2,600	+600	3,145	+55	+1.7%
経常利益	3,380	2,740	+640	3,283	+97	+3.0%
経常利益率	6.4%	5.3%	+1.1pt	6.6%	△0.2pt	△3.0%
親会社株主に帰属する当期純利益	2,260	1,800	+460	2,251	+9	+0.4%
1株当たり当期純利益	374.90円	298.78円	+76.12円	373.72円	+1.18円	+0.3%

※2024年5月14日発表の業績予想から修正

2025年3月期 下期業績見通し

■ 半期ベースでは、10月からの路線バスの運賃改定や年度末に計上する運行補助金などにより下期で利益の積み増しを想定

■ 2024/3期と比較すると、運賃改定効果などによる増収を見込むも、乗務員を含む社員処遇の改善による人件費増加やコロナ禍での車両購入抑制による修繕費増加などにより減益

(百万円)	2025年3月期（上期実績＋下期見通し）				2024年3月期（実績）	
	上期	下期見通し	対前期下期との増減額	対上期との増減額	上期	下期
売上高	24,355	28,545	+1,323	+4,190	22,258	27,222
営業利益	603	2,597	△388	+1,994	160	2,985
経常利益	681	2,699	△411	+2,018	173	3,110
経常利益率	2.8%	9.5%	△2.0Pt	+6.6Pt	0.8%	11.4%
親会社株主に帰属する当期純利益	420	1,840	△431	+1,420	△20	2,271

2025年3月期 業績予想（セグメント別）

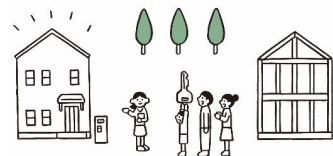
(百万円)	2025年3月期 予想（11/8開示）	2024年3月期 実績	実績比	
			増減額	増減率
売上高	52,900	49,480	+3,420	+6.9%
自動車運送	23,794	22,773	+1,021	+4.5%
車両物販・整備	10,224	9,508	+716	+7.5%
不動産	6,752	6,027	+725	+12.0%
レジャーサービス	4,555	4,487	+68	+1.5%
旅行貸切	7,088	5,885	+1,203	+20.4%
その他	4,764	4,530	+234	+5.2%
(調整額)	△4,277	△3,733	△544	—
営業利益	3,200	3,145	+55	+1.7%
自動車運送	1,197	998	+199	+19.9%
車両物販・整備	819	708	+111	+15.7%
不動産	1,365	1,487	△122	△8.2%
レジャーサービス	△52	30	△82	—
旅行貸切	91	110	△19	△17.3%
その他	△160	△170	+10	—
(調整額)	△60	△18	△42	—

2025年3月期 業績予想前提条件



自動車運送

- 路線バス
2回目となる運賃改定(10月～)の実施
- 高速バス
淡路島線の運賃改定(12月～)
大阪～神戸三田アウトレット線の増便



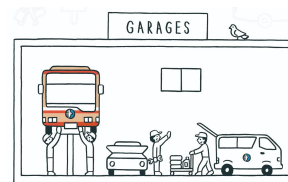
不動産

- 三田市学生マンションなどの新規取得
得分による賃料増
- 大口賃貸解約による償却費増
- 戸建住宅・分譲地の販売増



旅行貸切

- インバウンド需要の継続的な回復
と7月から開始した新コースによる
集客増
- 国内ツアーの需要回復とツアー単
価見直し



車両物販・整備

車両の使用延長による車検や整備が増加
整備の増加や部品単価の値上げなどにより
売上が増加



レジャーサービス

飲食の新規出店を1店舗実施予定
TSUTAYAは、レンタル減収分を物販
などでカバー
淡路島北淡震災記念公園内施設の開始
時期の変更(12月→3月)による見直し



その他

経営受託は新規受託や契約額改定による
増収
農業の小売店舗「バスの八百屋」5店舗
を12月に閉店(収入減、撤退費用増)

○本社の2拠点化(姫路・神戸)について

100周年事業の一環として、『グループ構想2030』に対応するため本社の2拠点化を決定

- ・神戸本社は2025年1月に神戸三宮で開設【今期に移転費用を計上】
- ・姫路本社は2025年12月に自社ビル(新築)へ移転【来期(2026年3月期)に移転費用を計上予定】



株主還元

■ 中間は当初予想から10円増配の1株当たり30円を配当

■ 当社の株主還元方針に基づき、期末も当初予想から10円増配の30円を配当予定
(2025年3月期年間には1株当たり60円を配当予定)

配当状況（実績）および今期の配当予想

(円)	2020/3期	2021/3期	2022/3期	2023/3期	2024/3期	2025/3期 (予想)	対前期比
1株当たり当期純利益	164.99	△359.94	354.90	293.30	373.72	374.90	+1.18
1株当たり配当金	35.00	17.50	35.00	※ ² 40.00	40.00	60.00	+20.00
※ ¹ 配当性向	21.2%	—	9.9%	13.6%	10.7%	16.0%	+5.3pt

※¹配当性向 = 配当金の支払い額 / 当期純利益

※²2022年8月に創立95周年を迎え、+5円の記念配当を実施

< 免責事項 >

当資料に記載されている内容のうち、過去の事実以外のものは、いくつかの前提に基づいた見通しであり、将来の計画数値や施策の実現を確約したり保証したりするものではありません。

問い合わせ先
総務部 広報IR課
079-223-1241 (代表)
ir@shinkibus.co.jp